

IDDNewsletter..... 8

August
2026



特集

2026 「高聳祭ディスプレイ」を終えて

情報デザイン科では、例年、本科の学校祭（高聳祭）開催に合わせ、インスタレーション作品を制作しています。今回のテーマは「ColorDialog（色の対話）～調和と衝突の境界で～」です。今号では、学生の活動の様子と完成した作品を御紹介します。

2026「高聳祭ディスプレイ」を終えて

専攻科情報デザイン科では、例年、本科の学校祭（高聳祭）開催に合わせ、インスタレーション作品を制作しています。今回のテーマは「ColorDialog（色の対話）～調和と衝突の境界で～」です。今号では、学生の活動の様子と完成した作品を御紹介します。

専攻科情報デザイン科では、毎年、科目「造形デザイン」の授業の一環として、本科の学校祭（高聳祭）に合わせ、インスタレーション作品を制作しています。この活動は、今までの学習の成果を多くの皆様に見ていただく機会になっています。今年度の作品も多くの方々に御覧いただき、作品への好意的な評価等、様々なご感想をいただきました。特に久々に実施した模擬店「ガチャ」では、学生が制作した作品を多くの方々に喜んでいただけている様子が見られました。学生は、本科を卒業以来の模擬店の運営だったそうですが、今回も販売だけではなく、自ら制作した作品を通してお客様とのコミュニケーションを図ることができたのではと感じています。当日まで表現方法などについて、試行錯誤を繰り返しながら進めてきた学生にとって、大きな自信に繋がることのできたのではないかと実感しています。

今年度も、本科棟と専攻科をつなぐ廊下、光庭の2カ所を、2グループに分かれ、制作を進めてきました。

以下、各グループの作品及び学生のコメントを御紹介いたします。



①「CMYKの三人」

色の三原色、シアン、マゼンタ、イエロー。そして、ブラック。この3人は、専攻科情報デザイン科イメージキャラクターでCMYKをチーフにして作成されています。

赤い子は亜土部 赤音（あどべ あかね）。青い子は藤香 藍（ふじか あい）、黄色い子は日下部 黄樹（くさかベ きき）。

それぞれ違った豊かな個性を持つ女の子たち。3人が力を合わせれば、どんな色でも描き出せることでしょう。それぞれの色のそれぞれの魅力。3人が織りなす色はまた、違った魅力を覗かせます。CMYKの爆発を楽しんでいただけると幸いです。



② 「Color Society」

壁面を利用したインスタレーションをイメージした時、付箋を使った作品案を思いつき、今回の作品を制作しました。カラーダイアログというテーマから、付箋の様々な色や一時的に貼り付けるといった付箋の特性を活かし、賑やかだけでも、儚い社会の様相を、壁面や天井等の空間全体を使って表現しました。



③ 「空と光の対話」

この作品で意識したことは、空にある色の変化と調和を改めて観察すると、色の表現によって、どのような天気を表しているのかをイメージし、今年のテーマである「色の対話」と結びつき、色同士の美しさを皆さんに見ていただきたいと思い、制作しました。



④ 「COLOR DIALOG_RGB party!」

校外学習において鑑賞した“作品を吊るす”という発想にインスパイアされ、さらに選択授業内で学んだカラーコードを、専攻科テーマ「Color Dialog」になぞらえて制作しました。学祭らしくポップで可愛らしいパーティを連想させるカラーコードを選択し造形しました。

白のカラーコードは「#FFFFFF」ですが、今回、床に散りばめられた「F」は何も着色されていない白いキャンバスを表現し、その上で色たちが踊っている様子を表現しています。



Contents

特集

2026「高聾祭ディスプレイ」を終えて

専攻科 情報デザイン科では、例年、本科の学校祭（高聾祭）開催に合わせ、インスタレーション作品を制作しています。今回のテーマは「ColorDialog（色の対話）～調和と衝突の境界で～」です。今号では、学生の活動の様子と完成した作品を御紹介します。

Welcome to Information Design Department !!

入学生を募集しています！

北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科は、聴覚障害のある方で、高等学校や、特別支援学校高等部を卒業等していれば、受検できます。それ以外の年齢制限や条件はありません。道外の方でも受検できます。昼食は給食を利用でき^{注1}、希望があれば、寄宿舎に入ることもできます^{注2}。

※入学条件の詳細は、下記アドレス専攻科情報デザイン科 Web ページ内の「入学者募集」をご覧ください。

専攻科情報デザイン科 Web ページ

http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=228

入学者募集について

http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=223

入学に関するお問い合わせ

ファックス：0134-62-2663

電子メール：koutourou-z0@hokkaido-c.ed.jp

電話：0134-62-2624



専攻科情報デザイン科の特徴

- ・高等学校に設置される「専攻科」と同様の枠組みです。（いわゆる「標準教育」の教育課程です）
- ・授業料が全くかからず、材料費等も非常に低コスト^{注3}で、対費用効果の高い学習内容を学ぶことができます。また、通学等に関わる費用は「就学奨励費」の対象^{注4}となっており、支援制度等も充実しています。
- ・DTP や Web に係わる「最新の」「スタンダード」な内容を重視します。（例えば、Web であれば、HTML5 と CSS3 を使い、セマンティックなコーディング、というように。もちろんテーブルレイアウトや center タグは使いません！）
- ・デザイン等に専門的な学習だけではなく、特別支援学校における「自立活動」^{注5}で扱うべき内容、例えば日本語教育や聴者社会の社会生活に係わる内容等を、総合的に、到達度がはっきり理解できるように学びます。
- ・学生のこれまでの学びの環境や積み重ね（「普通校」出身者か「聾学校」出身者か、失聴時期、日本語のリテラシー、学力等）に合わせた教育方法を準備します。
- ・筑波技術大学と協調した授業等も行っています。
- ・修了後について、本人、保護者の希望をお聞きすると同時に、ロールモデルとなる聴覚障がい教職員のアドバイスを受けたり、聴者社会とろう者社会、ろう者と難聴者との違い^{注6}などについて客観的に学びながら、単に「好きなこと」から「(社会にとって、自分にとって)やる価値のあること」「自分の技量でできること」「社会に貢献できること」といった観点から主体的に選択できるようにしていきます。

注1：1食400円（昼食）で、就学奨励費の対象となっています。注2：学年末・学年始休業日、夏季・冬季休業日は閉舎します。注3：現在、学校で材料費等は徴収していません。授業毎に使用する材料等は、すべて学生自身で準備し、学校に持参していただきます。注4：特別支援学校に在籍する生徒・学生への補助制度で、帰省や通学にかかる交通費、給食費等が対象となり、所得状況に応じて額は変わります。注5：普通校には通常ない指導領域で、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服に焦点を当てます。具体的には、弊校の場合、聞こえや社会生活、コミュニケーションに係わる内容となり、学校の教育活動全般をとおして行われます。注6：医療や教育分野では聴力を基準に考えることが多いですが、聴覚障がい者の実際の社会での有り様においては、日本手話を母語とする「ろう者」と聞こえづらけれども日本語を母語とする「難聴者・中途失聴者」で分かれます。

情報デザイン科学科だより

Information Design Department

IDDNewsletter

July 2026 8

IDDNewsletter August 2026

発行人／北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」編集チーム

発行／北海道高等聾学校

〒047-0261 北海道小樽市銭函1丁目5-1

www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp

※ご意見、ご要望などにつきましては、上記 Web ページより電子メールでご連絡ください。